

授業科目	英語通訳演習Ⅱ				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	EN31325J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-3 DP5-1			
担当教員	大谷 浩							
授業概要	「サイトトランスレーション」 「シャドーイング」 「リピーティング」 「ディクテーション」 の訓練を行い、それらを通じて、英語読解力やスピーキング力の底上げを図る。							
学生が達成すべき行動目標	中学英語の教科書レベルの英文であれば、初めて見たときに、スムーズにサイトトランスレーションができる。 中学英語の教科書レベルの英文であれば、初めて聞いたときに、スムーズにシャドーイングができる。 高校英語の教科書レベルの英文であれば、単語調べを済ませた後で、スムーズにサイトトランスレーションができる。 高校英語の教科書レベルの英文であれば、内容理解を終わらせた後で、ディクテーションができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	10	10	10	10	0	100	試験は授業時間内に行い、主に口頭発表とする
知識・理解 (DP1-1)		10					10	
知識・理解 (DP1-2)	30						30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10			10			20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10						10	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)			10		10		20	データ資料提出必須
技能・表現 (DP5-1)	10						10	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				

(1)前出し訳速度:140 語以上 (不要語/言い直しなし) (2)オーバーラッピング訳:140 語台、訳出ミスゼロ		(1)前出し訳速度:120 語以上 (不要語/言い直しなし) (2)オーバーラッピング訳:140 語台、訳出ミス 2~3 カ所		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	コース説明。ペア逐次通訳。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
2	英日教材訳出練習→情報の映像処理→書取→名詞(冠詞、複数形)の処理。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
3	前出し訳(first-in-first-out)。前回の書取の音声特徴分析、シンタクスの観点から構文修正。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
4	前回の教材の前出し訳完成。「自分の言葉」で内容説明→内容の要約。英語戻し。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
5	オーバーラッピング訳。英日教材訳出→スロット書取で構文間違いを自力修正。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
6	英日教材:内容の予測・要約練習。「不要語なし」訳出。名詞・構文間違いの修正。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
7	前出し訳→つなぎ言葉挿入方法紹介。予測・要約。英語戻し練習→自分の言葉化。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
8	ぶっつけ前出し訳→品詞予測、文型予測。訳出速度測定。書取スロット修正。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
9	起承転結予測。エディターの視点で展開を読む。キーワード探し。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
10	同一語・同義語の線結び。ロジック展開読み練習。書取自己修正版提出。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
11	学期末総括準備。ぶっつけ前出し訳。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
12	「不要語なし」訳完成。オーバーラッピング訳。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
13	「データ表・学期末総括レポート」提出。オーバーラッピング訳完成。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
14	ペア逐次通訳実力試し。	演習	該当箇所の復習と予習	60-120
15	総復習。	演習	該当箇所の復習	60-120
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	英検2級以上、TOEIC550点以上。			
テキスト	なし。必要に応じて資料を配布します。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	英和辞書で適切な訳語が見つからないときは、Oxford や Longman などの英英辞書を活用しましょう。単語の本義が見えやすくなります。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	定員は10～15名です。 リスニングやリーディングの理解度をより深めるために、人に教えるつもりで学習しましょう。例えば、リーディングの場合、高校生に教えるつもりで読んでみましょう。人に伝えるつもりで読むと、理解度が高まります。リーディングがより一層楽しくなるし、人に情報を伝える通訳の練習にもなります。			
達成度評価に関するコメント	遅刻や欠席は、達成度を落とすのでマイナス評価をします。 授業中に集中して取り組むのはもちろん、隙間時間を利用して、シャドーイングなどに取り組んで下さい。			